

世界を結ぶ未来社会をデザインする — 社会基盤学 —

世界では、経済活力を生み出す社会基盤の構築競争が起きています。同時に、社会基盤を地震や水害などから守り、耐久性の維持や環境との融合を図ることも必要とされています。21世紀における持続的発展が可能な社会の実現を目指して、社会や構造物のパブリックデザイン、防災技術、環境保全・再生および資源循環など多岐にわたる国境を超えています。

安全で快適な社会活動に必要な不可欠な空間・環境を創造するための基盤となる諸施設の計画、建設、維持管理、再生に関する技術や学び、自然環境と共生できる社会基盤を作るための最先端のテクノロジーを公開します。

未来をみて、国土政策の新しい道を拓く — 国土政策学 —

人類の生活・活動領域の膨張と拡大は深刻な環境問題を起こしています。人々の安全な生活を将来にわたって確保するためには、広域的かつ包括的で高度な技術に裏打ちされた社会基盤政策の立案と執行が不可欠となっています。

社会基盤整備に必要な政策、計画立案、都市デザイン、計画システム、さらに自然環境と社会環境の両者に基づいた空間的配置やネットワーク計画にかかわる最先端技術と計画手法を公開します。



2017年4月3日(月)～11日(火)

場所 工学部A棟, I棟 他

対象 社会基盤学/国土政策学コース2, 3, 4年生

今年で第10回目となる社会基盤学コース・国土政策学コースのオープンラボを、4月3日(月)～4月11日(火)に開催することになりました。

両コースの教員は、「社会基盤マネジメント領域」、「エネルギーフロンティア研究領域」、「自然災害適応領域」の3つの領域に所属して研究活動しています。

オープンラボでは、幅広い分野をカバーする3領域の教員や大学院生が、先端技術や研究成果を公開します。皆さんが今まさに学んでいる基礎科目や専門科目、これから学ぶ応用的・実践的な科目の先にあるアウトプットや、皆さんが将来進むべき道がみえてくるかもしれません。

見学には、専門性や難しい知識は一切必要ありません。両コースやそれぞれの領域が何を目指し、実際に何をやっているか、皆さんの目でみて、耳で聞いて、そして感じてみてください。研究のほかにも、学生生活、ゼミ合宿やスポーツなどのイベント、学会発表や海外の大学の話なども聞くことができるはず。気軽に参加してください。

会場は、工学部A棟, I棟(実験棟), C棟, N棟, 開発科学実験棟などです。以下の地図を参考にしてください。



社会基盤マネジメント領域

上田 多門 教授
横田 弘 教授
泉 典洋 教授
松本 高志 教授
渡部 要一 教授
木村 一郎 准教授
磯部 公一 准教授
Michael Henry 准教授
古内 仁 助教
Adriano Lima 助教
Katia Regina 助教
横濱 勝司 助教

エネルギーフロンティア研究領域

蟹江 俊仁 教授
萩原 亨 教授
杉山 隆文 教授
高野 伸栄 教授
佐藤 太裕 准教授
岸 邦宏 准教授
鄭 好 助教
猿渡 亜由未 助教
志村 和紀 助教

自然災害適応領域

清水 康行 教授
石川 達也 教授
山下 俊彦 教授
渡部 靖憲 准教授
山田 朋人 准教授
佐藤 靖彦 准教授
内田 賢悦 准教授
西村 聡 准教授
福田 文彦 助教
田中 岳 助教